
2006年度夏学期 第6回 物性セミナー

「液晶に見られる散逸構造」

講師 多辺 由佳 氏 (早稲田大理工)

日時 2006年6月16日(金) 午後4時30分～

場所 16号館 827

ソフトマターの一つである液晶では、構成要素である分子間に働く強くかつ柔らかい異方的相互作用が、そのマクロな物性を特徴付けている。我々はこれまで、厚さが10ナノメートル以下の二次元液晶の非平衡ダイナミクスに注目して研究をおこなってきた。二次元膜では、個々の分子の個性(構造や運動)が、バルク液晶に比べてより直接的にマクロ構造に反映されるという特徴がある。微弱な外場によって分子に励起された運動が、液晶の協調作用によって選択増幅されバルクでは見られないダイナミクスに発展する現象を紹介する。

次回の予定

6月23日 澤井 哲 氏 (ERATO 金子複雑系生命)

6月30日 藤谷 秀章 氏 (富士通研究所ナノテクノロジー研究センター)

「Computational drug design と非平衡統計力学」

物性セミナーのページ

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/FSwiki/wiki.cgi/BusseiSeminar>

駒場セミナーカレンダー (駒場内のみアクセス可)

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/webcal/webcal.cgi>

物性セミナー世話人：加藤雄介
福島孝治
簀口友紀
堺 和光